

編集室

多摩キャンパスの中央大学硬式野球場が熱気に包まれた。観客、プロ野球スカウト、メディア。テレビカメラは放列をしいた。3月12日・日曜日。中大一早稲田実業高の練習試合が行われていた。

選抜高校野球（甲子園）に出場する早実には、話題のホームランバッターで主将の清宮幸太郎選手がいる。中大が試合相手となるのは宮井勝成元監督が、世界のホームランキングとなる王貞治選手を指導した早実監督だったからだ。

迎える中大は1～3年生によるBチームだ。あすのレギュラーを目指して、存在を大いにアピールしたい。新1年生が先発メンバーに4人、試合出場は10人を超えた。

その中で那賀^{な かいきゅう}一^{いっ}球^{きゅう}遊撃手（商1）が異彩を放った。打席で選球眼がいい。2ストライクと追い込まれても焦らず、ボールを見極め、四球で出塁。守備では投手一捕手へ、走者をけん制でアウトにしようとサインを送る。1球ごとに考えて動く。名前通りのプレーを展開した。

命名者は元野球選手の父親という。「1球を大切に」との思いが込められている。弟は「球道」君、妹が「たまの」さん。3人きょうだいは「球」を共有する。

大分県立臼杵高の卒業式（3月1日）で総代に選ばれた。中大には一般入試で入学、野球部入部は遅いながらも、注目される早実戦の先発メンバーを勝ち取った。目標達成へ着実に進む、努力の人だ。

球は「地球」にもつながる。那賀選手にはスケールの大きな選手になってもらいたい。4月4日に開幕する東都大学春季リーグ戦での活躍が楽しみだ。ファンの熱視線を浴びる日も近いだろう。

（編集長 久保田茂信）

Staff

◎取材協力

学事部
各学部事務室
大学院事務室
学生部
ボランティアセンター
中央図書館

国際センター
入学センター
キャリアセンター
学友会
経理研究所
委員会 ほか

◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

◎学生記者

山下 崑	長塚 優佳	森 真優
菅野 誠一郎	内藤 伊音	田村 律子
代田 知之	佐藤 檀子	土方 海緒
今村 直道	本間 友里香	野口 真莉子
片桐 将吾	宮田 詩織	山田 亮太郎 (順不同)

◎制作協力

平田 碧（株式会社ツグミ）	小室 恵理子
稲葉 美枝子（株式会社オーク）	佐野 恵理子
太田 まゆみ	

NEXT ISSUE

『HAKUMON Chuo』2017 夏号
No.252 7月3日発行予定

学生記者が総力取材！

お楽しみに！

お詫び



前号・早春号の目次「似顔絵教室 絵画同好会」の作者名に誤りがありました。正しくは「八田夏実／程英子」です。関係者の皆様にお詫び申し上げます。



2017 春号 NO.251

2017年（平成29年）4月2日発行

発行：中央大学広報室
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

メールアドレス：hc@tamajs.chuo-u.ac.jp
編集担当：『HAKUMON Chuo』 ☎042-674-2048